

平成 25 年生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえた
保護費の追加給付に係る申出書

吹田市 福祉事務所長 殿

申出年月日 _____ 年 月 日

現住所〒 _____

氏 名 _____

電話番号 _____ ()

平成 25 年 8 月から令和 8 年 3 月までの期間について、下記のとおり、相違ないため、追加給付に係る必要書類を添えて申し出ます。

記

1. 世帯構成（平成 25 年 8 月から令和 8 年 3 月までの期間において、保護を受給していた世帯員すべてを記載してください。申出日時点で死亡している世帯員については「死亡」欄に○をしてください）

（フリガナ） 氏名	世帯主 との続柄	生年月日	生活保護受給期間 （ 年 月 日 ）	死亡 （申出日時点）
	世帯主 本人	年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	

※ 本申出は、申出先の吹田市で保護を受給されていた期間の世帯主が行うものとなります。
世帯主が現在死亡されている場合は、留意事項の※ 2 を参照してください。

※ 申出先の吹田市で保護を受給されていた期間をご記入ください。
（他の自治体で保護を受給されていた期間がある場合は、別途その自治体へ申出が必要
となります。また、申出先の自治体で複数回保護を受給されている場合は、それぞ
れの期間ごとに申出が必要となります。）

※ 「生活保護受給期間」について、大学就学等により世帯分離となっている期間を除いて
ください。

2. 保護を受給していた当時の居所（選択肢をチェックしてください。）

申出先の自治体で保護を受給されていた期間の居所が、

☐ 現住所と同じ

☐ 現住所と異なる（異なる場合は以下の「当時の居所」及び「期間」を記載願います。）

※複数の居所がある場合は、追加で記載願います。

（当時の居所）

（期間） 年 月 日 ～ 年 月 日

（当時の居所）

（期間） 年 月 日 ～ 年 月 日

（当時の居所）

（期間） 年 月 日 ～ 年 月 日

※ 居所には、当時住んでいた場所を記載ください。

※ 当時の居所を記載できない場合は、当時の住所の履歴を確認するため、戸籍謄本の附票の写しを添付してください。

3. 振込先口座

以下の記入に加え、これらの口座情報が確認できる通帳等の写しを添付してください。

（フリガナ） 口座名義	金融機関名	支店名	口座種別	口座番号					
			普通						
			当座						

※ 振込口座の名義は、申出者本人名義のものに限ります。

4. 申出者以外の世帯員の連絡先（複数人世帯の場合）

複数人世帯の場合は、申出者へ連絡がつかないときの連絡先（他の世帯員）を記載してください。申出内容の確認等のため、必要に応じてご連絡することがあります。

他の世帯員の氏名

電話番号（携帯または自宅）

—

—

5. 申出に必要な提出書類

▼ 下記の提出書類をご提出ください。

① 申出者の顔写真付きの身分証明書の写し

（例）マイナンバーカード（表面のみ） 運転免許証 在留カード 障害者手帳
パスポート など

② 振込口座を確認できる書類の写し

（例）通帳の見開きページ キャッシュカード WEB通帳の画面 など

※受取口座の金融機関名、口座番号、口座名義（カタカナ表記）が分かるもの

③ 全世帯員の戸籍謄本の写し（発行から3か月以内のもの）

※外国籍の方は戸籍謄本の代わりに全世帯員の住民票の写しをご提出ください。

④ 同意書

※別紙の「同意書」に署名してご提出ください。

6. 加算等の申出

当時の最低生活費の確認のため、申出者及び世帯員について、該当する加算等を記載してください。（該当がない場合は、記載不要。）

※ 加算等の該当がある場合は、併せて挙証資料を提出してください。なお、挙証資料の提出がない場合であっても申出書を受け付けできますが、加算等について算定ができない場合があります。

[illegible]

※ 複数の該当期間がある場合は、適宜追加で余白に記載ください。

裏面へ続く

申出に係る加算等の種類	該当する内容 (平成 25 年 8 月から令和 8 年 3 月までのうち、該当がある場合に記載ください。)	挙証資料の例
母子加算 (当時、ひとり親世帯の期間があり、母子加算が算定されていた期間を記載してください。)	氏名 : 期間 : 年 月 ～ 年 月	児童扶養手当の証書・通知書 または 母子加算の決定に関する保護決定通知書
妊産婦加算 (当時、妊産婦の期間があり、妊産婦加算が算定されていた期間を記載してください。)	氏名 : 期間 : 年 月 ～ 年 月	母子健康手帳 または 妊産婦加算の決定に関する保護決定通知書
在宅患者加算 (当時、在宅患者加算が算定されていた期間を記載してください。)	氏名 : 期間 : 年 月 ～ 年 月	結核治療に係る書類 または 在宅患者加算に関する保護決定通知書
放射線障害者加算 (当時、放射線障害者加算が算定されていた期間を記載してください。)	氏名 : 期間 : 年 月 ～ 年 月	被爆者健康手帳、原爆症認定に係る書類 または 保護決定通知書
未成年者控除 (20 歳未満控除) (当時、20 歳未満で、就労収入があり、未成年者控除 (20 歳未満控除) がされていた期間を記載してください。)	氏名 : 期間 : 年 月 ～ 年 月 就労先 :	20 歳未満の就労に係る給与明細、通帳履歴 (就労収入の状況が分かるもの) または 20 歳未満控除に関する保護決定通知書

※複数の該当期間がある場合は、適宜、追加で余白に記載ください。

申出書の記載内容は以上となります。

【留意事項】

- ※1 不実の申請その他不正な手段により申出に基づく支給を受けた場合は、刑法の規定によって処罰されることがあります。
- ※2 本申出は当時の世帯主が行うものとなります (当時の世帯主が複数存在する場合は、保護廃止時点における世帯主。以下同じ。)。当時の世帯主が死亡している場合は、当時の世帯主に準ずる者が申出を行ってください。 (準ずる者は、①配偶者 (届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にあるものを含む。)、②子、③父母、④孫、⑤祖父母、⑥兄弟姉妹、⑦曾孫又は⑧甥姪の順となる。) なお、同一順位の者が複数いる場合は、代表するものが申出を行ってください。
- ※3 申出権者による申出が困難な場合で、代理人が申出するときは、別途委任状を添付ください。
- ※4 申出内容の確認等のため、申出者の連絡先へ、必要に応じてご連絡することがあります。

同意書

私は、「平成25年生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付に係る申出書」の提出にあたり、以下の事項について同意し、誓約いたします。

記

1. 平成25年生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付の決定のために必要があるときは、私及び私の世帯員（以下「私等」という。）の保護の受給状況を確認するため、貴福祉事務所が官公署、日本年金機構等（以下「官公署等」という。）に対し、必要な書類の閲覧若しくは資料の提供を求めることに同意します。
2. 福祉事務所による調査又は報告要求に対し、官公署等が必要な報告を行うことについて、私等が同意している旨を福祉事務所から官公署等へ伝えることに異議ありません。
3. 申出書の記載内容に誤字・脱字、明らかな計算誤り、その他の形式的な記載不備が認められた場合には、事務処理上必要な範囲において、事務局が申出内容を修正又は補記することがあることを承諾します。
4. 前項の修正又は補記は、申出の趣旨及び申出者の意思を変更しない範囲に限り行われることを承諾します。
5. 修正又は補記は、市が保有する情報に基づいて行われる場合があることに了承します。
6. 修正又は補記を行った場合は、その内容に関する記録を保存した上で処理を行い、当該修正又は補記について申出者への個別の通知を行わずに処理される場合があることに異議ありません。

上記事項について同意し、署名いたします。

令和 年 月 日

住所

氏名